

「異分野融合セミナー」を開催

2017年7月14日

7月14日（金）に、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、金沢大学 新学術創成研究機構 特任助教 林 貴史 先生を招いて、異分野融合セミナーを開催しました。

セミナーでは「細胞の四角形／六角形タイリングメカニズム」という演題で、ショウジョウバエの複眼の構成を元に、分子遺伝学、イメージング、数理モデリングを駆使し、検討されて得られた研究結果を中心に講演していただきました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約20名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



異分野融合セミナー

がん進展制御研究所
新学術創成研究機構

日時:2017年7月14日(金)17:00～18:00

場所:がん進展制御研究所・会議室(4階)

**演者:林 貴史 先生
(金沢大学・新学術創成研究機構・特任助教)**

演題名:細胞の四角形／六角形タイリングメカニズム

林先生は、東京大学・大学院・理学系研究科にて学位取得後に、米国や国立遺伝学研究所で研究生活を送られ、平成28年3月に金沢大学に着任されました。

細胞の形態の決定には細胞膜の接着力や張力といった力学的性質が重要であると考えられていますが、そのメカニズムはほとんどわかっていません。ショウジョウバエの複眼を構成する個眼は20個程度の細胞の集合体であり、通常は六角形パターンを示します。しかし、いくつかの突然変異体では力学的には不安定な四角形パターンを示します。その原因は複眼サイズが小さくなる場合に四角形が安定化されることにあり、複眼サイズは組織内力学を介して四角形化を促進していると林先生は予想されました。分子遺伝学、イメージング、数理モデリングを駆使し、この予想を検討されて得られた、林先生ご自身の結果を中心に紹介していただく予定です。

多くの方のご来聴を歓迎いたします。

向田 直史(分子生体応答・内線6735)